



2025年2月10日

各位

会社名 株式会社パピレス
代表者名 代表取締役社長 松井 康子
(コード番号:3641 スタンダード)
問合せ先 取締役総務・経理部長 須永 喜和
(TEL:03-6272-9533)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期通期(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,065	百万円 598	百万円 654	百万円 339	円 銭 34.36
今回修正予想(B)	15,879	△547	△355	△374	△38.02
増減額(B-A)	△2,185	△1,145	△1,009	△713	
増減率(%)	△12.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	17,175	255	544	217	21.96

2. 修正の理由

「売上高」が当期の事業計画に比べて不利差異となっており、また、「売上高」の不利差異を主要原因として、各利益についても事業計画に比べて不利差異が発生しているため、連結業績予想を修正いたしました。

「売上高」は、個人情報保護法の改正に伴うターゲティング広告の規制強化による広告効果の低下や、デジタルサービス法の導入に伴う大手IT企業が運営するプラットフォームのコンテンツ規制の強化等の影響によって、事業計画を下回って推移しています。

広告規制に対しては、新しい広告手法の導入を進める等の対策を継続的に行い、また、コンテンツ規制に対してもサイト改良等の対策を行っていますが、改善効果が計画よりも遅れています。

さらに、オリジナルコンテンツの制作についても、リリース計画に未達が発生し、見込んでいた売上貢献を獲得できませんでした。

今回、第3四半期会計期間において実施したマス広告の売上効果が、従前の実施結果に比べて低下し、売上計画を下回ったことをあわせて、第3四半期累計期間の実績数値から、2025年3月期中での売上の回復が困難と判断いたしました。

「営業利益」、「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」の各利益については、「売上高」が事業計画を下回る中で、オリジナルコンテンツ及び次世代コンテンツの制作・開発投資並びに広告宣伝施策を、中長期的な事業拡大を目指して積極的に継続実施していることにより、損失が発生すると予想しています。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上